

# JAMA NEWS

NO. 52

## The Japanese Association of Management Accounting

日本管理会計学会 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内 日本管理会計学会事務局

### 2021年度年次全国大会記

黒岩美翔 (長崎県立大学)

日本管理会計学会2021年度年次全国大会 (開催校: 長崎県立大学) が、2021年8月26日(木)~28日(土)の会期で、全面オンラインにて開催された (準備委員長: 宮地晃輔氏)。当初は対面での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を背景に、開催地である長崎県が独自の緊急事態宣言を発令したことを踏まえ、急遽すべてのプログラムがオンライン会議システムを用いての開催となった。そのため、直接的な交流は叶わなかったものの、結果として全国各地から多くの方が参加可能となり、大変有意義な学会となった。本大会記では、大会の様子の一部を紹介したい。

#### [大会1日目]

常務理事会・理事会をはじめとする諸会議がオンラインにて開催され、昨年度の事業報告、収支決算、監査報告、今年度の事業計画、収支予算、さらに学会賞審査委員会からの審査結果などについて、審議・報告がなされた。なお、2022年度年次全国大会の会場が明治大学駿河台キャンパスの予定であることも報告された。

#### [大会2日目]

午前中は6会場に分かれて12の自由論題報告からスタートした。その後、特別企画として椎葉淳氏 (大阪大学) 司会のもと、加登豊氏 (同志社大学) による「再び「管理会計のレゾナント」について」の講演が行われた。管理会計の価値が認められていない現状を踏まえた上で、どのようにすれば経営実践で管理会計の意義が認識されるのか、また管理会計の研究・教育の高度化が達成されるのかという問題意識のもと、いくつかの方法・アクションが提案された。具体的には、経営者や他の領域の研究者との濃厚な対話に取り組むことや、英知を結集した教科書作り、また、教育に関する教員間の情報交換を促進することなどが挙げられた。討論者であった澤邊紀生氏 (京都大学) からは、「総力」というよりは賢い「分化」と「統合」を実現する戦略構想が必要であると本講演のエッセンスが提示された。質疑応答の際には多くの質問が寄せられ、活発な議論が行われた。研究・教育・実践など、多角的な視点から管理会計に取り組む姿勢について改めて考えさせられる内容となった。

昼食後の会員総会では、事業報告・計画、決算・予算・監査などの審議・報告が行われた。また、本来であれば学会賞の授与式が行われる予定であったが、今大会がオンラインでの開催となったため、受賞者の報告のみが行われた。なお、受賞者は以下の通りである。

特別賞: 水野一郎氏 (関西大学教授)  
功績賞: 伊藤嘉博氏 (早稲田大学教授), 大下丈平氏 (九州大学名誉教授), 小菅正伸氏 (関西学院大学教授), 加登豊氏 (同志社大学教授), 小倉昇氏 (青山学院大学教授)  
奨励賞: 榭谷奎太氏 (高千穂大学准教授) 「予算管理における診断的コントロールの質一多様な効果の発生原理の探究一」、井上慶太氏 (東京経済大学専任講師) 「顧客関係と管理会計一拡張的な顧客関係の捉え方をふまえて一」

その後開催された統一論題報告・討論のテーマは「間接費配賦の再考」であった。まず、座長の丸田起大氏 (九州大学) から解題がなされた。丸田氏からは、間接費配賦についての理論的・実務的研究が進み、原価計算の適用領域がサービス業や非営利組織に拡大する中で、間接費配賦の目的や対象がどのように変化してきているのかについて問題提起がなされた。

続く第一報告として、谷守正行氏 (専修大学) から「銀行の間接費配賦の変化の背景と理論化一実態調査と市場環境分析に基づく研究一」というタイトルのもと、配賦実務の理論化・サービス業の研究について報告がなされた。様々な要因からビジネス環境や戦略が変化していく中で、銀行の原価計算も見直しが行われ、顧客別キャパシティー推定型原価計算 (銀行ポストABC) へと移行してきていることが指摘された。また、この銀行ポストABCは他のサービス業においても、デジタルサービスを展開する企業等には適用可能性があることが示唆された。

第二報告は、足立俊輔氏 (下関市立大学) による「病院原価計算システムにおける間接費配賦の課題と対応」であった。足立氏は間接費を配賦する病院原価計算システムとして、患者情報が記載されている電子カルテ情報を用いることで、タイムスタディを伴わない病院原価システムの構築が可能であると指摘した。また、コロナ禍では病院原価計算を導入し、未利用キャパシティーを見える化、タスクシフティングを実施することで、患者ケアに多くの時間が確保できることが示された。

最後の第三報告では、高橋賢氏 (横浜国立大学) から、「21世紀の間接費管理一ネットワーク組織のキャパシティー・マネジメント一」というタイトルで報告がなされた。高橋氏は配賦をしないという考え方の下、21世紀における内需の減少と人的生産能力の減少という問題を念頭に、現代では一組織・一企業ではアイドル・キャパシティーの管理が困難であることを指摘した。そのため、同じような属性を持つ組織の集積や、属性の異なる組織

の集積を活用するといった、メゾレベルでのキャンペーン管理の必要性が提示された。

報告後の討論では、丸田座長のコーディネートの下で、冒頭で提起された2つの観点である「なぜ配賦をするのか」、「どのように配賦をするのか」について各研究の立場から議論がなされた。最後の質疑応答の時間も含め、デジタル化やコロナ禍の影響を受けて目まぐるしく変わりゆく現状を考慮した上で、様々な視点から間接費の配賦と管理についてディスカッションが行われ、非常に意義深い統一論題報告・討論となった。

#### 【大会3日目】

午前中は、自由論題12報告と、2つのスタディ・グループによる中間報告・最終報告に加え、産学共同グループの中間報告が行われた。昼食後には、学会創設30周年記念特別講演会として、高田明氏（株式会社A and Live代

表取締役、株式会社ジャパネットたかた創業者）より、「企業経営で大切にしてきたこと、人を育てることの大切さ」のテーマのもと講演が行われた。講演においては、本学会を意識しながら「管理会計」に触れつつ、高田氏のこれまでの経験を踏まえて、「伝えると伝わるは違うこと」、「過去と他人は変えられないが、未来と自分自身は変えられる」ことなど、研究や教育のみならず、生活していく上で実際に意識していきたい内容が豊富に盛り込まれていた。ユーモアを交えながら、参加者へ質問を投げかけるなど常に聴衆をひきこんでいく様子はまさに、「人に伝わる」ということを体現されているようであった。最後に、画面越しではあったが、参加者から高田氏へ盛大な拍手が送られ、非常に賑やかな講演会となった。最後に、自由論題12報告が行われ、無事に大会が終了した。

## 2022年度年次全国大会 開催ご挨拶

大会実行委員長 明治大学 崎 章浩

日本管理会計学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2022年度年次全国大会が、8月29日（月）～8月31日（水）の日程で明治大学駿河台キャンパスに於いて開催されることになりました。現在、新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染が急拡大していますが、今大会の開催時期には感染が収束していることを切に願いながら、以下にご案内の「日本管理会計学会2022年度年次全国大会スケジュール予定」にもとづき、対面形式による大会開催で準備を進めております。

統一論題のテーマは、「わが国におけるコスト・マネジメントの現状と課題」（仮題）です。また、スタ

ディ・グループ報告および産学共同研究グループ報告が予定されています。

今大会の特別講演会といたしまして、公益財団 渋沢栄一記念財団 渋沢史料館 館長 井上潤氏の講演開催が決定しております。

自由論題報告の募集につきましては、2022年3月に会員各位にご案内し、詳細の大会プログラムは7月中旬に郵送させていただきます。

今年は、会長および理事の選挙の年であり、準備委員会一同、万全の準備を進める所存でございます。多くの会員の皆様のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

### 日本管理会計学会2022年度年次全国大会スケジュール予定 会場：明治大学駿河台キャンパス

#### 【大会1日目】

##### 8月29日（月）

- 14：30～15：50 常務理事会
- 16：00～17：20 理事会
- 17：30～18：30 各種委員会

#### 【大会2日目】

##### 8月30日（火）

- 9：00～17：00 受付
- 10：00～17：00 会長および理事選挙投票
- 9：30～10：35 自由論題報告（1）※6会場 最大12報告
- 10：45～11：50 自由論題報告（2）※6会場 最大12報告
- 12：40～14：00 会員総会
- 14：10～15：20 特別講演会 渋沢史料館 館長 井上 潤氏
- 15：30～16：05 スタディ・グループ報告および産学共同研究グループ報告

《スタディ・グループ報告》

中間報告：研究代表者 横田絵理氏（慶応義塾大学）

「多様化するマネジメント・コントロールの現状整理と展望」

《産学共同研究グループ報告》

中間報告：研究代表者 青木章通氏（専修大学）

「サブスクリプションビジネスのモデル化とその評価に関する研究」

16：20～18：10 統一論題報告

統一論題テーマ：わが国におけるコスト・マネジメントの現状と課題（仮題）

座長：田坂 公氏（福岡大学）

報告者：今井範行氏（名古屋国際工科専門職大学）

「トヨタのコスト・マネジメントと今後の課題」（仮題）

柗 紫乃氏（愛知工業大学）

「現場改善会計論の提唱：原価管理から余剰生産能力管理へ」（仮題）

片岡洋人氏（明治大学専門職大学院）

「コスト・マネジメントの新展開：サービス化の原価企画に学ぶ」（仮題）

18：20～19：50 懇親会（予定）

### 【大会3日目】

#### 8月31日（水）

9：00～11：30 受付

10：00～12：00 会長および理事選挙投票

9：30～10：35 自由論題報告（3）※6会場 最大12報告

10：45～11：50 自由論題報告（4）※6会場 最大12報告

12：40～13：15 スタディ・グループ報告および産学共同研究グループ報告

《スタディ・グループ報告》

最終報告：研究代表者 伊藤克容氏（成蹊大学）

「DDP（仮説指向事業計画）の導入効果に関する研究」

《産学共同研究グループ報告》

最終報告：研究代表者 中川 優氏（同志社大学）

「人を基軸にしたグローバル経営を展開するダイキン工業の管理会計研究」

13：30～14：50 統一論題討論 座長：田坂 公氏，統一論題報告者：今井範行氏、柗 紫乃氏、片岡洋人氏

15：00 大会日程終了

## 学会業務日誌

2021年4月17(土)

▼第1回常務理事会開催(成蹊大学)

▼第1回理事会開催(成蹊大学)

- ◆ 2020年度の事業報告が承認されました。
- ◆ 2021年度の方針および事業計画(案)が承認されました。
- ◆ 入会7会員(正会員4名・準会員2名・賛助会員1社)、準会員から正会員4名、退会9会員(正会員6名、特別会員1名・賛助会員2社)が承認されました。
- ◆ 「予算の内規設定」の記載変更案が承認されました。
- ◆ 「学会誌編集委員会運営規定第10条2c」の改正案が承認されました。
- ◆ 2021年度全国大会の準備状況について報告がありました。
- ◆ 地方部会の活動状況について報告がありました。
- ◆ フォーラム・リサーチセミナーの活動状況について報告がありました。
- ◆ スタディ・グループの公募について報告がありました。
- ◆ 学会賞候補者の募集について報告がありました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告がありました。
- ◆ 30年史刊行準備状況について報告がありました。

2021年7月17(土)

▼第2回常務理事会開催(オンライン会議)

- ◆ 2020年度の収支決算書(案)および監査報告が承認されました。
- ◆ 2021年度収支予算(案)が承認されました。
- ◆ スタディ・グループ申請書が承認されました。
- ◆ 産学共同グループ申請書が承認されました。
- ◆ 入会3名(正会員2名・準会員1名)、準会員から正会員4名、退会8名(正会員8名)が承認されました。
- ◆ 学会賞(特別賞・功績賞)について報告がありました。
- ◆ 2021年度全国大会の準備状況について報告がありました。
- ◆ 2022年度全国大会の開催について報告がありました。
- ◆ 地方部会の活動状況について報告がありました。
- ◆ フォーラム・リサーチセミナーの活動状況について報告がありました。
- ◆ 企業研究会の活動状況について報告がありました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告がありました。
- ◆ 学会創設30周年記念事業について報告がありました。

2021年8月26(木)

▼第3回常務理事会開催(オンライン会議)

▼第2回理事会開催(オンライン会議)

- ◆ 2021年度会員総会次第が承認されました。
- ◆ 2020年度収支決算書(案)および監査報告書が承認されました。
- ◆ 2021年度収支予算(案)について、第2回常務理事会からの修正点が報告された後、承認されました。
- ◆ 学会賞(特別賞・功績賞・奨励賞)について承認されました。
- ◆ 入会2名(正会員1名・準会員1名)、準会員から正会員3名、正会員から特別会員1名、退会15名(正会員8名・準会員7名)が承認されました。
- ◆ 予算の内規の変更が異議なく承認されました。
- ◆ 2021年度第2回国際会議参加経費の助成について申請がない旨が報告されました。
- ◆ 2022年度全国大会の準備状況について報告がありました。2022年度年次全国大会が明治大学で開催されることについて、教室の貸出状況が不確定であり後期にならないと確定されない旨が報告されました。
- ◆ 地方部会の活動状況について報告がありました。
- ◆ フォーラム・リサーチセミナーの活動状況について報告がありました。
- ◆ 企業研究会の活動状況について報告がありました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告がありました。
- ◆ 学会創設30周年記念事業について報告がありました。

2021年11月15(月)～11月20日(土)

▼第4回常務理事会開催(メールによる持ち回り会議)

- ◆ 入会5名(正会員3名・準会員2名)、準会員から正会員1名、退会1名(準会員1名)が承認されました。
- ◆ 2022年度年次全国大会について、8月29日(月)～8月31日(水)に明治大学で開催される旨が報告されました。
- ◆ 2021年度第1回国際会議参加経費の助成について、申請がない旨が報告されました。
- ◆ 地方部会、企業研究会の活動状況について報告がありました。
- ◆ フォーラム・リサーチセミナーの活動状況について報告がありました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告がありました。
- ◆ 学会創設30周年記念事業について報告がありました。

## 会員数の推移

- 第1回常務理事会（2021.4.17）：入会7会員（正会員4名・準会員2名・賛助会員1社），会員種別変更4名（準会員から正会員4名），退会9会員（正会員6名・特別会員1名・賛助会員2社），会員現員数は715会員（正会員:615名，準会員:68名，賛助会員:10社，特別会員:9名）
- 第2回常務理事会（2021.7.17）：入会3名（正会員2名・準会員1名），会員種別変更4名（準会員から正会員4名），退会8名（正会員8名），会員現員数は700会員（正会員:613名，準会員:65名，賛助会員:10社，特別会員:9名）
- 第3回常務理事会（2021.8.26）：入会2名（正会員1名・準会員1名），会員種別変更4名（準会員から正会員3名・正会員から特別会員1名），退会15名（正会員8名・準会員7名），会員現員数は684会員（正会員:608名，準会員:56名，賛助会員:10社，特別会員:10名）
- 第4回常務理事会（2021.11.20）：入会4名（正会員2名・準会員2名），復会1名（正会員1名），会員種別変更1名（準会員から正会員1名），退会1名（準会員1名），会員現員数は688会員（正会員:612名，準会員:56名，賛助会員:10社，特別会員:10名）※不備の会員申込提出者1名を含む。

## 事務局からのお知らせ

- フォーラムやリサーチセミナーの案内等，会員宛の連絡にeメールを活用しています。メールアドレスを未登録の方は，学会ホームページよりご変更ください。また，すでに登録されている方で，案内等が届かない，あるいは，メールアドレスに変更があった場合には，速やかに学会事務局までご連絡ください。

日本管理会計学会広報 責任者：崎 章浩

メンバー：庵谷治男，大槻晴海，奥 倫陽，川島和浩，梅田 宙

発行機関：日本管理会計学会

《本部事務局》 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター (株)国際文献社内

日本管理会計学会 事務局

【ホームページURL】 <http://sitejama.jp/>

【E-mail】 [jama-post@bunken.co.jp](mailto:jama-post@bunken.co.jp)

【TEL】 03-6824-9371 【FAX】 03-5227-8631